

「ごみゼロフリーマーケット2024」実施報告

日 時	令和6年11月16日（土）午前10時から午後2時
場 所	リサイクルセンター広場
天 候	曇り
来場者	約1,650名
事業内容	・ フリーマーケット40店参加 ・ おもちやの病院 ・ 福祉作業所による物品販売 ・ 小平産野菜の販売（人参20袋、大根20本、柿20袋） ・ 食物資源堆肥の無料配布（200袋配布） ・ フードドライブ（未利用食品の回収、市内利用向け8.1kg、15品、社会福祉協議会） ・ 牛乳パックの回収・雑貨の粗品との交換（東多摩再資源化事業協同組合） ・ エコグッズ販売・人工芝クイズ（小平・環境の会） ・ 廃食油の回収（回収15ℓ、こだいらソーラー） ・ 廃食油から作った石けん販売（小平石けんひまわりの会） ・ 東京水の資料配布、啓発・水道相談受付（東京都水道局） ・ SAF 推進・VR 体験（日揮ホールディングス、廃食油回収5ℓ） ・ 陶磁器食器の回収（回収20kg） ・ 小型家電の回収（回収3kg） ・ 分別相談、スタンプラリー（スタンプラリー参加者100名、資源循環課） ・ ポップコーン・わたあめ・飲食の販売（小平市清掃事業協同組合）
特記事項	開催時期を従来の5月下旬から11月中旬に変更した今回は、心配された雨も降ることなく、無事に開催することができた。来場者数は例年と同規模で、特に飲食ブースでは、ポップコーンやわたあめを販売したこともあり、子どもに人気で終始賑やかだった。 フリーマーケットは、広場の真ん中にある原っぱを会場とし、多くの方々がフリーマーケットを楽しんでいた。 フリーマーケット会場の周りでは、福祉作業所による物品販売や、環境団体による啓発活動などを行い、来場者が様々な環境に関する問題に触れ合う機会となった。 陶磁器食器、小型家電などの資源物の回収も定着しており、好評であった。 「スタンプラリー」では、3R にちなんだスタンプ3種類のすべてを集めた参加者100人に啓発グッズ（マグネット）をプレゼントした。 「ごみゼロ」をテーマに、イベントの中で極力ごみを出さないことを目指し、出展者はプラスチック袋を渡さない、参加者はマイバッグを持参して買い物をするなど、イベントの趣旨が浸透していた。
従事者	運営ボランティア 9名 資源循環課職員 12名 環境部応援職員 3名 委託警備 8名

【参考】「ごみゼロフリーマーケット2024」の様子

